

# 「災害と生物多様性」フォーラム

東日本大震災から2年近くが経ちました。被災地の生物多様性の現状をお話しいただくとともに、今後、被災地の生物多様性を保全していく上で、どのような対応・対策が必要なのか考えていきます。さらに、今後も起きるであろう災害のリスクを低減させるための国際的動向を紹介していただき、防災の観点も含めた災害と生物多様性についても考えていきます。

**日時** 2013年3月10日(日) 13:30~17:00

**場所** 中央大学後楽園キャンパス  
3号館3300教室

**主催** 生物多様性JAPAN

**参加費** : 無料  
**申込不要** : 当日先着80名



東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩5分  
都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩7分  
JR総武線『水道橋駅』から徒歩15分

総合司会: 西田治文 (生物多様性JAPAN、中央大学)

- ・講演 古田尚也氏 (IUCN Japan Office)  
「DRR(災害リスク削減)を廻る国際的な動向」
- ・講演 堂本暁子氏 (生物多様性JAPAN)  
「災害リスク削減(DRR)と生物多様性・男女共同参画」
- ・パネルディスカッション

「東日本大震災の被災地における生物多様性の動向」

モデレーター 太田英利氏 (兵庫県立大学)

事例紹介

太田英利氏

大規模災害の影響指標としての両生類

西村学氏 (環境省東北地方環境事務所)

東日本大震災と生物多様性-環境省東北地方環境事務所の活動から

伊原禎雄氏 (奥羽大学)

災害地における両生類等の小動物が蒙った多様性へのインパクト

稲葉修氏 (南相馬市博物館)

災害地における両生類等の小動物が蒙った多様性へのインパクト

金田正人氏 (生物多様性JAPAN)

災害復興策の一案としての保全移植及び再導入

※プログラム内容は都合により変更する場合がございます。

生物多様性JAPAN事務局 メール: mail@bdnj.org

東京都文京区春日1-13-27中央大学理工学部生命科学科西田研究室内

本イベントは平成24年度の地球環境基金助成を受けて開催されます。